

ワクチンの種類	重篤な副反応	その他の副反応
黄熱	<p>1) ショック、アナフィラキシー様症状: 頻度10万回接種に1例程度 接種直後にじんましん、ぜんそく様症状、呼吸困難、血管浮腫(皮下や粘膜のむくみ)等が現れることがある</p> <p>2) 脳脊髄膜炎、ギラン・バレー症候群、急性散在性脳脊髄炎、けいれん、球麻痺等の神経系障害 頻度10万回接種に0.4～0.8例程度</p> <p>3) 熱性多臓器不全: 頻度10万回接種に0.3～0.4例程度 接種後2～5日目に疲労、筋肉痛、頭痛を伴う発熱が現れ、呼吸困難、肝機能障害、リンパ球減少、血小板減少、高ビリルビン血症、腎不全等の急速な進行を特徴とする多臓器不全を発現し、重大な転機をたどることがある。</p>	<p>1) 過敏症: 発熱、じんましん、紅斑、皮膚のかゆみ、ぜんそく様症状等が現れることがある。</p> <p>2) 全身症状: 頭痛、発熱、筋肉痛、背部痛、関節痛、倦怠感等が現れることがあるが、いずれも一過性で通常2～3日(黄熱ワクチンの場合は5～10日)中に消失する。</p>
日本脳炎	<p>1) ショック、アナフィラキシー様症状: 頻度0.1%未満 接種直後にじんましん、呼吸困難、血管浮腫(皮下や粘膜のむくみ)等が現れることがある。</p> <p>2) 急性散在性脳脊髄炎: 頻度0.1%未満 中枢神経系におこる炎症性脱髄性疾患のことで、通常、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等が現れる。</p> <p>3) 脳症: 接種後、発熱、手足の麻痺、けいれん、意識障害等が現れる。頻度不明</p> <p>4) けいれん: 接種直後から数日頃までにけいれんが現れる。頻度不明</p> <p>5) 急性血小板減少性紫斑病: 頻度不明 アレルギー反応により血小板が壊されることによる。接種後数日から3週間に皮膚の紫斑(点状の出血)や鼻出血、口腔粘膜からの出血等がみられる。</p>	<p>3) 消化器症状: 下痢、吐き気、嘔吐、腹部不快感等が現れることがある。</p> <p>4) 局所症状: 接種部位に発赤、紅斑、かゆみ、むくみ、腫れ、痛み、硬結(硬く触れる)等が現れることがあるが、いずれも一過性で通常2～3日中に消失する。ただし、局所の硬結は1～2週間残存することがある。とくに破傷風ワクチンを2回以上接種された場合、著しい局所反応を呈することがあるが、通常は数日中に消失する。</p>
狂犬病	<p>1) ショック、アナフィラキシー様症状: じんましん、呼吸困難、口唇浮腫(口唇のはれ・むくみ)、喉頭浮腫(喉の奥がむくみ、息が苦しくなることがある)等が現れたとの報告がある。</p>	
破傷風	<p>1) ショック、アナフィラキシー様症状: 頻度0.1%未満 接種直後にじんましん、呼吸困難、血管浮腫(皮下や粘膜のむくみ)等が現れることがある。</p>	
A型肝炎 B型肝炎	重篤な副反応の記載なし	

ワクチンの種類	重篤な副反応	その他の副反応			
麻疹 (はしか)	<p>1) ショック、アナフィラキシー: 頻度0.1%未満 ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等)があらわれることがある。</p> <p>2) 血小板減少性紫斑病: 頻度100万人接種あたり1人程度 通常、接種後数日から3週ごろに紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血等があらわれる。</p> <p>3) 急性散在性脳脊髄炎: 頻度不明 通常、接種後数日から2週間程度で発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等があらわれる。</p> <p>4) 脳炎・脳症: 頻度100万人接種あたり1人以下</p> <p>5) けいれん: 頻度0.1%未満 熱性けいれんを起こすことがある。</p>	<p>1) 過敏症: 接種直後から数日中に発熱、じんましん、紅斑、皮膚のかゆみ、発熱等が現れることがある。</p> <p>2) 全身症状: 5-14日の後に1-3日間のだるさ、不機嫌、発疹等が現れることがある。7-12日を中心として発熱、発疹等があらわれることがある。</p> <p>3) 局所症状: 接種部位に発赤、腫れ、硬結(硬く触れる)、腫れ、痛み、等が現れることがある。</p>			
風疹	<p>1) ショック、アナフィラキシー: 頻度0.1%未満 ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等)があらわれることがある。</p> <p>2) 血小板減少性紫斑病: 頻度100万人接種あたり1人程度 通常、接種後数日から3週ごろに紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血等があらわれる。</p>	<p>1) 過敏症: 麻疹参照</p> <p>2) 全身症状: 接種後発熱、発疹等が現れることがあるが、通常、2-3日中に消失する。</p> <p>3) 局所症状: 接種後1-2週間前後に頸部その他のリンパ節の腫脹、関節痛などの症状を認めることがある。通常数日中に消失する。発赤、腫脹、疼痛等が接種部位にあらわれることがある。</p>			
MR (麻疹 風疹 混合ワクチン)	<p>1) ショック、アナフィラキシー: 頻度0.1%未満 蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等があらわれることがある。</p> <p>2) 血小板減少性紫斑病: 頻度0.1%未満 通常、接種後数日から3週ごろに紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血等があらわれる。</p> <p>3) 急性散在性脳脊髄炎: 頻度不明 通常、接種後数日から2週間程度で発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等があらわれる。</p> <p>4) 脳炎・脳症: 頻度0.1%未満</p> <p>5) けいれん: 頻度0.1%未満 けいれん(熱性けいれんを含む)を起こすことがある。</p>		5%以上	0.1~5%未満	頻度不明
局所症状		発赤、腫脹	硬結、疼痛等の注射部位反応		-
過敏症		-	発熱、発疹、蕁麻疹、そう痒、		多形紅斑
精神神経系		-	不機嫌、頭痛、だるさ		-
呼吸器		鼻汁、咳嗽	口腔咽頭痛、咽頭紅斑、鼻閉		-
消化器		-	下痢、嘔吐、食欲減退、腹痛		-
皮膚		-	発疹		麻疹様発疹
筋・骨格系		-	関節痛		-
その他		発熱	眼脂、頸部その他のリンパ節腫		-
水痘 (水ぼうそう)	<p>1) アナフィラキシー: 頻度0.1%未満 アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、口唇浮腫、喉頭浮腫等)があらわれることがある。</p> <p>2) 血小板減少性紫斑病: 頻度0.1%未満 通常、接種後数日から3週ごろに紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血等があらわれる。</p>	<p>1) 局所症状: 発赤、腫れ、硬結(硬くふれる)が現れることがある。</p> <p>2) 過敏症: 発熱、発疹、じんま疹、紅斑、痒みが現れることがある。</p> <p>3) 皮膚: 健康小児および成人では接種後1-3週間ごろに、発熱、発疹、水疱性発疹が発現することがあるが、一過性で、通常数日中に消失する。</p>			

ワクチンの種類	重篤な副反応	その他の副反応																												
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)(ムンプス)	<p>1) ショック、アナフィラキシー: 頻度0.1%未満 ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等)があらわれることがある。</p> <p>2) 無菌性髄膜炎: 頻度0.1%未満 接種後、ワクチンに由来すると疑われる無菌性髄膜炎が発生することがある。接種後3週間前後に、おたふくかぜワクチン(鳥居株)に由来すると疑われる無菌性髄膜炎が、1,600人接種あたり1人程度発生するとの報告がある。</p> <p>3) 急性散在性脳脊髄炎: 頻度不明 通常、2週間程度で発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等があらわれる。</p> <p>4) 脳炎・脳症: 頻度不明 脳炎・脳症があらわれることがある。</p> <p>5) 血小板減少性紫斑病: 頻度100万人接種あたり1人程度。 通常、接種後数日から3週ごろに紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血等があらわれる。</p> <p>6) 難聴: 頻度0.1%未満 ワクチン接種との関連性が疑われる難聴があらわれたとの報告がある。通常一側性。</p> <p>7) 精巣炎: 頻度0.1%未満 ワクチンに由来すると疑われる精巣炎があらわれたとの報告がある。通常、接種後3週間前後に精巣腫脹等が、特に思春期以降の男性にみられる。</p> <p>8) 急性膵炎: 頻度不明 急性膵炎(腹痛、発熱、嘔気、嘔吐等)があらわれることがある。</p>	<p>1) 過敏症: 接種直後から数日中に過敏反応として、発疹、蕁麻疹、紅斑、癢痒等があらわれることがある。</p> <p>2) 全身症状: おたふくかぜに対して免疫のない健康児に本剤を接種した場合、接種後2～3週間ごろに、発熱、耳下腺腫脹、嘔吐、咳、鼻汁等の症状を認めることがある。しかし、これらの症状は自然感染に比べ軽度であり、かつ、一過性で、通常、数日中に消失する。</p> <p>3) 局所症状: 接種局所に発赤、腫脹を認めることがあるが、通常、一過性で2～3日中に消失する。</p>																												
DTP-IPV4 (破傷風・ジフテリア・百日咳・ポリオ)	<p>1) ショック、アナフィラキシー: 頻度0.1%未満 ショック、アナフィラキシー(蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等)があらわれることがある。</p> <p>2) 血小板減少性紫斑病: 頻度0.1%未満 通常、接種後数日から3週ごろに紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血等があらわれる。</p> <p>3) 脳症: 頻度不明 接種後、発熱、四肢麻痺、けいれん、意識障害等の症状があらわれる。</p> <p>4) けいれん: 頻度0.4% 通常、接種直後から数日ごろまでにけいれん症状があらわれる。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>5%以上</th> <th>0.1～5%未満</th> <th>1%未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>局所反応 (注射部位)</td> <td>紅斑、硬結、腫脹</td> <td>内出血、熱感</td> <td>そう痒感、疼痛、発疹、小水疱</td> </tr> <tr> <td>皮膚</td> <td>発疹</td> <td>湿疹、紅斑、そう痒症</td> <td>蕁麻疹</td> </tr> <tr> <td>精神神経系</td> <td>気分変化</td> <td></td> <td>傾眠</td> </tr> <tr> <td>呼吸器</td> <td>鼻漏、咳嗽、咽頭 紅斑</td> <td>鼻閉、痰、喘鳴、くしゃみ</td> <td>発声障害</td> </tr> <tr> <td>消化器</td> <td>下痢、食欲減退、 嘔吐</td> <td>胃腸音異常</td> <td>悪心</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>発熱</td> <td>鼓膜充血</td> <td>無力症</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※この4種混合ワクチンは、製剤によって副反応発生頻度が多少異なります</p>		5%以上	0.1～5%未満	1%未満	局所反応 (注射部位)	紅斑、硬結、腫脹	内出血、熱感	そう痒感、疼痛、発疹、小水疱	皮膚	発疹	湿疹、紅斑、そう痒症	蕁麻疹	精神神経系	気分変化		傾眠	呼吸器	鼻漏、咳嗽、咽頭 紅斑	鼻閉、痰、喘鳴、くしゃみ	発声障害	消化器	下痢、食欲減退、 嘔吐	胃腸音異常	悪心	その他	発熱	鼓膜充血	無力症
	5%以上	0.1～5%未満	1%未満																											
局所反応 (注射部位)	紅斑、硬結、腫脹	内出血、熱感	そう痒感、疼痛、発疹、小水疱																											
皮膚	発疹	湿疹、紅斑、そう痒症	蕁麻疹																											
精神神経系	気分変化		傾眠																											
呼吸器	鼻漏、咳嗽、咽頭 紅斑	鼻閉、痰、喘鳴、くしゃみ	発声障害																											
消化器	下痢、食欲減退、 嘔吐	胃腸音異常	悪心																											
その他	発熱	鼓膜充血	無力症																											

各種ワクチンの副反応表は、ワクチン製剤の添付文書より抜粋して作成しました。

	重篤な副反応	その他の副反応			
輸入ワクチン (商品名)	以下のワクチンは本邦において未承認の輸入製剤です。 そのため、たとえワクチンによる健康被害が発生しても、厚生労働省が制定した予防接種健康被害者救済制度は適用されません。 ただし、予防接種の輸入を代行する事業者が設置した私的な救済制度が適用されます。				
腸チフス (Typhim Vi)	ごくまれにアナフィラキシーショックを起こします。	注射部位の違和感、発赤、疼痛を生じることがある。まれに発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛を認める。			
破傷風・ジフテリア・百日咳 (BOOSTRIX)	1)重篤なアレルギー反応(アナフィラキシー) 2)脳症(昏睡、意識レベルの低下、遷延性けいれん) 3)ギランバレー症候群、上腕神経炎	・注射器を被っているキャップにラテックスが含まれているため、アレルギー反応を起こす可能性がある。 ・注射による失神を起こす可能性がある。 ※神経障害(脳血管イベントや急性の脳症の症状)がある場合、ワクチン接種が延期されます。			
狂犬病 (VERORAB)	1)アナフィラキシー様症状 2)呼吸困難、痙攣、脳症	・リンパ節腫脹 ・アレルギーによる皮膚の反応、発赤・痒み・蕁麻疹・膨隆 ・頭痛、めまい、眠気 ・腹痛、吐き気、下痢、嘔吐 ・筋肉痛、関節痛 ・注射部位：痛み、紅斑(発赤)、硬結、血腫、腫脹、痒み ・発熱、発熱による震え(シバリング)、倦怠感、インフルエンザ様症状			
麻疹、風疹、ムンプス (PRIORIX)		10%以上	1%以上10%未満	0.1%以上1%未満	0.01%以上0.1%未満
		注射部位の発赤、37.5℃以上の発熱	上気道感染、発疹、注射部位の痛みと膨隆、39℃以上の発熱	中耳炎、リンパ節炎、食欲不振、神経過敏、異常啼泣、不眠症、結膜炎、気管支炎、咳、耳下腺腫脹、下痢、嘔吐	アレルギー反応、熱による痙攣
ダニ媒介脳炎 (FSME-IMMUN)		10%以上	1%以上10%未満	0.1%以上1%未満	0.01%以上0.1%未満
		注射部位の痛み	頭痛、吐き気、筋肉痛、関節痛、疲労感	リンパ節腫脹、嘔吐、発熱、注射部位の出血	免疫系過敏症、傾眠、めまい、下痢、腹痛、注射部位の紅斑、硬結、膨隆、痒み、異常感覚、温感

A型肝炎 (HAVRIX)			10%以上	1%以上10%未満	0.1%以上1%未満	0.01%以上0.1%未満
		注射部位の反	疼痛、発赤	硬結、膨隆		
		体全体の反応	頭痛、疲労感	37.5℃以上の発熱 倦怠感	インフルエンザ症状	悪寒
		皮膚の反応		発疹		掻痒感
		呼吸器の反応			咽頭炎・上気道炎・ 鼻炎	
		消化器の反応		吐き気、下痢、嘔 吐、食欲減退	腹痛	
		骨格筋への反			筋肉痛、筋肉のこわ ばり	
		血液の反応 中枢神経系の 反応	易怒性	眠気	めまい	リンパ節腫脹 感覚鈍麻、 感覚異常
髄膜炎菌B型 (BEXSERO)	10 歳 以 下 の 小 児		10%以上	1%以上10%未満	0.1%以上1%未満	0.01%以上0.1%未満
			食欲不振			
		神経系の症状	眠気、異常啼泣 頭痛		痙攣（熱性痙攣 を含む）	
		血管の反応			注射後の顔面蒼白	川崎病症状
		消化器の反応	下痢、嘔吐			
		皮膚、皮下組 織の反応	発疹（幼児）	発疹（乳児、2～10 歳）	湿疹	蕁麻疹
	一般的な症状	38℃以上の発熱 関節痛	39.5℃以上の発熱 注射部位の圧痛、紅 斑、膨隆、硬結、痒み	40℃以上の発熱		
		11歳以上の小児、 大人		10%以上	1%以上10%未満	0.1%以上1%未満
		頭痛、吐き気、注射部 位の痛み、紅斑、硬 結、膨隆、倦怠感、関 節痛				

※ 破傷風ワクチンでアルサス反応が起こったことのある方はワクチンを打つことが出来ません。

※ その他のワクチン同様、免疫不全の方、免疫抑制療法を受けている方はワクチンによる免疫が得られません。

※ アレルギー反応(局所的又は全身に至る発赤、痒み、水疱、目や顔の腫れ、呼吸や嚥下困難)これらの反応は接種後数分から数十分以内に起こります。